

アンケート調査集計表

方部名	市町村名	1 洪水・土砂災害ハザードマップ等防災計画の住民への周知(認知度向上)の徹底に関する取組	2 情報伝達手法の改善に関する取組
相双	相馬市	<p>平成30年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年5月、土砂災害ハザードマップを全戸配布。 平成30年5月、市の広報紙において土砂災害ハザードマップについて紹介。 <p>令和元年度の実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織が行う防災訓練において、ハザードマップを活用し、認知度向上を図る。 県の洪水浸水想定調査の公表後、洪水ハザードマップを全戸配布。 市の広報紙やHPにおいて周知する。 	<p>平成30年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線を利用した訓練に積極的に参加した。 登録制メールへの登録を、広報紙等で住民へ周知を促した。 <p>令和元年度の実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線を利用した訓練に積極的に参加する。 登録制メールの更なる登録者増加へ向けて、広報紙等で住民へ周知を促す。 市HPのリニューアルに合わせて緊急情報をトップページの見やすい場所へ配置する。
	南相馬市	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月1日号の広報誌において特集でハザードマップの再確認及び周知を図った。 平成30年9月1日号の広報誌において別冊としてハザードマップを配布した。 平成30年10月～順次、市内の4つの行政区に対してハザードマップを配布し、防災訓練の際に使用してもらうなどした。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月1日号の広報誌において特集の中で、市防災ラジオの貸し出しや防災メールの登録方法等、周知を図った。
	新地町		
	広野町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年1月 町HPのリンク先及び内容確認 平成31年3月 町地域防災計画の修正に併せ、防災会議にて記載内容の整合性を確認する予定。 令和元年度内 町防災マップ(仮)の新規作成・配布を予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度内 防災行政無線 戸別受信機の貸与率(全戸)増加のため、行政区回覧や訪問活動を実施。また、帰還者・転入者・町外からの避難者へ貸与について、広報している。 平成30年10月 津波避難訓練時に、防災行政無線・緊急速報メール・LED掲示板等を用いた。また、参加者に情報伝達手段の周知を実施。 令和元年度内 防災行政無線 戸別受信機の無償貸与を継続。 令和元年10月 津波避難訓練時に、防災行政無線・緊急速報メール・LED掲示板等を用いる予定。また、参加者に情報伝達手段の周知を実施する予定。
	檜葉町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 町HP掲載、土砂災害危険箇所付近住民への注意喚起(戸別訪問) 令和元年度予定 ハザードマップ更新及び全戸配布 	<ul style="list-style-type: none"> 特に無し 現状 防災無線戸別受信機の配布(希望世帯)
	富岡町	<p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> HPでの情報公開 祭事等でのパンフレット配布 <p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 祭事等でのパンフレット配布 住民参加の避難訓練 	<p>平成30年度、令和元年度共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線(音声) エリアメール HP上での緊急情報の表示
	川内村	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月末までにハザードマップ作成予定。 令和元年5月号の村広報誌配布時にハザードマップも全戸配布予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度、住民に広報誌等で情報伝達手段(防災行政無線)の周知を行った。(訓練時の情報伝達手段を含む。) 令和元年度についても、情報伝達手段の周知を行う。
	大熊町	<ul style="list-style-type: none"> 避難解除に向け検討調整中。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難解除に向け検討調整中。
	双葉町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の取り組みはなし。 令和元年度(2019年度)では、当町では2020年春に特定復興再生拠点区域の一部及び避難指示解除準備区域での避難指示の解除を目標としている。 当該区域ではその時点では居住することはできないことや避難施設の指定にいたらないこと。 ハザードマップ作成の基礎となる河川などの災害復旧工事も進捗中。 そのため、現時点では周知の予定はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 当町では東日本大震災以後、防災無線が使用できない状況にある。 平成26年度に一時立入者向けの緊急放送システムを整備し運用中。Jアラートとの連携も進めている。しかし、整備箇所数は十分ではないと認識しているところ。 令和元年度(2019年度)では、当町では2020年春に特定復興再生拠点区域の一部及び避難指示解除準備区域での避難指示の解除を目標としている。 それ合わせて特定復興再生拠点区域の立入規制の緩和も検討している。 そのため、緊急放送システムを令和元年度(2019年度)より福島生活環境整備・帰還再生加速事業委託事業により整備していく考え。 将来的には、防災無線は復旧させていく。
	浪江町	<ul style="list-style-type: none"> 防災担当部署以外の窓口にもハザードマップを配備し、住民が目にする、手にとる機会を増やした。 平成30年4月にハザードマップを作成し、住民に配布するとともに、HP等にも掲載し、周知を図った。 復旧、復興の途上にあり、施設の復旧や新設などが見込まれることから、継続して、ハザードマップなどのリバイスを行い、可能な限り最新のバージョンを住民に周知していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度末までに防災行政無線のデジタル化及びスピーカー等の改修を行う。 屋外のパンザマストなどの配置を見直すことにより難聴エリアを解消する。 戸別受信機の配布を促進するとともに、屋内で受信できない場合は、外部アンテナを設置し、屋内でも確実に防災行政無線が聞き取れるようにする。 継続して、HPや広報誌など、あらゆる機会を利用して情報伝達について住民に周知する。 防災行政無線の電話応答サービスの周知を図る。 すべての情報伝達手段(防災行政無線、HP、登録制メール、緊急速報メール、広報車など)を確実に伝えるよう訓練を継続的に実施する。
	葛尾村	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画の策定(新規) (ハザードマップについても同時並行にて作成中) <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画やハザードマップについて住民に公表 	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画の策定中(新規) <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度～令和2年度については、村内の防災行政無線をデジタル化する整備工事を2箇年で行う予定。 令和元年度については、住民に避難情報が確実に受け取ることができる伝達手段を整備するため、地域防災計画の早急な対応が求められる。
	飯舘村	<ul style="list-style-type: none"> 村内への住民帰還状況を考慮しながら、住民周知の方法と併せて、今後作成につき検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 水防業務を兼務している消防団との連絡体制を、H29年度に構築。情報伝達訓練実施についても引き続き検討を行う。